

遺 伝 子 と 遺 伝 子 異 常 < C 2 & C 4 >

オーガナイザー

分子遺伝学講座の教授

教 員 名

分子遺伝学講座の教員

総合周産期母子医療センター 准教授 南 佐和子

I 一般学習目標 (※)

遺伝情報・ゲノム情報の特性を理解し、遺伝情報・ゲノム情報に基づいた診断と治療、未発症者を含む患者・家族の支援を学ぶ。

II 個別学習目標 (※)

1. 集団遺伝学の基礎として Hardy-Weinberg の法則を概説できる。
2. 家系図を作成、評価 (Bayes の定理、リスク評価) できる。
3. 生殖細胞系列変異と体細胞変異の違いを説明でき、遺伝学的検査の目的と意義を概説できる。
4. 遺伝情報の特性 (不変性、予見性、共有性) を説明できる。
5. 遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。
6. 遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮を説明できる。
7. 遺伝医学関連情報にアクセスすることができる。
8. 遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる。
9. エピゲノムの機序及び関連する疾患を概説できる。
10. 多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。
11. 薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。

III 教育内容

担当教員が決まり次第追って掲示する。

IV 学習および教育方法

担当教員が決まり次第追って掲示する。

V 評価の方法

担当教員が決まり次第追って掲示する。

VI 教科書・参考書

担当教員が決まり次第追って掲示する。

※ 参考として医学教育モデル・コア・カリキュラム (平成28年度改訂版) を引用している。
実際の講義内容は、担当教員が決まり次第追って掲示する。